

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回豊里学園コミュニティ・スクール推進会議				
開催日時		令和7年5月26日（月）開会 9:30 閉会 11:10				
開催場所		つくば市立上郷小学校				
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課				
出席者	委員	豊里中学校：古澤 武司、青木 孝二、中山 健二 柳下 浩一朗、皆葉 真治、堀内 正江 校長 岡野 浩則、教頭 永井 明子 今鹿島小学校：大西 重信、市村 美和、坂本 健太郎 長橋 進也 校長 大竹 伸一 教頭 信田 隆志 沼崎小学校：野堀 憲、大塚 久美子、内田 康隆 校長 小林 真理子、教頭 浅尾 信也 上郷小学校：岡田 真樹、岡田 健一、石黒 澄子 校長 松房 道之、教頭 篠崎 篤史				
	その他					
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏				
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由						
議題		熟議「学園の子供たちをどのような子供たちに育てていきたいか、そのためにどのような活動ができるか」				
会議録署名人				確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 自己紹介 4 説明事項 つくば市コミュニティ・スクールについて 5 協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 学校の教育活動事例の紹介 (3) 【熟議】 テーマ「学園の子供たちをどのような子供たちに育てていきたいか、そのためにどのような活動ができるか」					

< 審議内容 >

- 1 開会 事務局：篠崎教頭（上郷小）より
- 2 任命書交付（各自確認）
- 3 自己紹介 今鹿島小→沼崎小→上郷小→豊里中

4 説明事項 村上社会教育主事より
つくば市コミュニティ・スクールについての説明

5 協議

- (1) 会長、副会長の選出及び挨拶（古澤会長、青木副会長）
- (2) 学校運営の基本方針（グランドデザイン）説明について
豊里学園→豊里中→沼崎小→今鹿島小→上郷小

【質問】

大西委員

どのような子供を育てていきたいかは、年齢によってレベルが違う。私はつくばでボーイスカウトシステムを作ったが、そこでは学年や年齢ごとに育成方針が違う。各年齢での育成方針や具体例がないといけないのではないかと。年齢ごとに分けて、どのような子供になってほしいかという目標がないと、一般的な説明に終始してしまい、具体的ではないのではないかと。

古澤会長

おそらく各学校においては、低学年、中学年、高学年に分けるなどし、目標が決まっているのではないかと思います。大竹校長先生、どうでしょうか。

大竹校長

グランドデザインに関しましては大枠で話しているので、具体的なお話を今後にしていければと思います。

【グランドデザインの承認】→拍手多数で承認。

(3) 各学校の予算の説明

- ・沼崎小：秋祭りやゲストティーチャー招聘等を重視した予算
- ・今鹿島小：150年記念行事・イベントを重視した予算
- ・上郷小：150年記念を重視した予算
- ・豊里中：体験活動、文化祭を重視した予算
- ・会長：使い道を十分に検討していただき、有効な予算組みをお願いします。

(4) **【熟議】** 10:30～11:00

テーマ「学園の子供たちをどのような子供たちに育てていきたいか、
そのためにどのような活動ができるか」

① 各校からの情報共有・発表（各校教頭が発表）

・沼崎小

キャリア教育を軸とした学習活動、沼崎地区の人財や施設を生かす。

・今鹿島小

体験的な活動を重視する。人と人とのかかわりを重視し、地域連携をし

ていく。

・上郷小

人間力（コミュニケーション能力）の育成のために、対話ができるように、自分を大切にできるように、結果を急ぎすぎないように、対話という力に重点を置く。

・豊里中

豊里の良さを子供たちが認め、将来は豊里のために、地域に貢献するという意識を高め、地域と連携した行事、豊里の良さを見つけるための手立てが必要である。

② 委員からの意見・感想

・堀内委員（豊里中）より

いろいろな意見が出て、保護者として考えることもありました。子供たちのことを考えてくださって、いろいろとお忙しい中、先生たちは凄いなと思いました。

・柳下委員（豊里中）より

登下校の様子を見ていると、地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちが児童生徒の安全確認のため外に出てくださっている。年1回でもよいので、校長先生達にはその現場に行って、是非こうした地域の方々とつながってほしいとお願いしたいです。

・古澤会長より

各学校、学園のために地域を巻き込んで学校の教育活動に協力できれば良いと思います。地域で協力できることはがんばっていきます。学校も是非地域を頼っていただければと思います。

6 その他

(1) コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

開催予定：2回目、令和7年9月30日(火) 10時 会場：沼崎小学校

3回目、令和8年1月27日(火) 10時 会場：豊里中学校

(2) コミュニティ・スクール連絡網登録について

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和7年度 第1回豊里学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和7年5月26日（月）

9：30～11：00

場所：上郷小学校 第二多目的室（2階）

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 自己紹介

4 説明事項

つくば市コミュニティ・スクールについて

5 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動事例の紹介

(3) 熟議 テーマ

「学園の子供たちをどのような子供たちに育てていきたいか、

そのためにどのような活動ができるか」

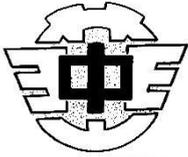
6 その他

コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

令和7年度 豊里学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回：5月26日 月曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	所属・役職
1	(1) 地域住民	金川 清治	元青少年を育てる市民の会豊里支部長
2	(2) 児童・生徒の保護者	正根寺 公平	PTA本部役員
3	(2) 児童・生徒の保護者	内田 康隆	PTA本部役員
4	(2) 児童・生徒の保護者	大塚 久美子	PTA本部役員
5	(1) 地域住民	野堀 憲	民生委員豊里地区会長
6	(5) 各学校長	小林 真理子	
7	(6) 教職員	浅尾 信也	教頭
8	(1) 地域住民	大西 重信	各種団体職員
9	(1) 地域住民	長橋 進也	元今鹿島小PTA会長
10	(1) 地域住民	稲田 優子	元学校評議員
11	(2) 児童・生徒の保護者	坂本 健太郎	今鹿島小PTA会長
12	(2) 児童・生徒の保護者	市村 美和	今鹿島小PTA本部役員
13	(5) 各学校長	大竹 伸一	
14	(6) 教職員	信田 隆志	教頭
15	(4) 学識経験者	池田 克美	元上郷小教頭
16	(1) 地域住民	伊藤 祐二	元上郷小PTA会長
17	(1) 地域住民	岡田 真樹	R6年度上郷小PTA会長
18	(2) 児童・生徒の保護者	岡田 健一	上郷小PTA会長
19	(1) 地域住民	石黒 澄子	
20	(5) 各学校長	松房 道之	
21	(6) 教職員	篠崎 篤史	教頭
22	(3) 地域学校協働活動推進員	古澤 武司	元豊里中学校校長
23	(1) 地域住民	皆葉 真治	元豊里中PTA会長
24	(4) 学識経験者	柳下 浩一朗	ジミーファーム代表
25	(1) 地域住民	中山 健二	青少年を育てるつくば市民の会会長
26	(3) 地域学校協働活動推進員	青木 孝二	上郷市街地活性化協議会
27	(2) 児童・生徒の保護者	堀内 正江	豊里中PTA本部役員
28	(5) 各学校長	岡野 浩則	
29	(6) 教職員	永井 明子	教頭
30			



豊里学園 つくば市立豊里中学校 グランドデザイン

豊里学園教育目標 自己を磨き、夢の実現を目指す児童生徒の育成

茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市教育目標

- みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
- 自己実現できる学校
みんなで支え合い、
みんなが生き生きとした学校

学校教育目標

自己を磨き、夢の実現を目指す生徒の育成

- 組織目標
- 「繋がり」を意識した教育活動の推進
 - 教育大綱に基づいた授業改善
 - ワークライフバランスを重視した働き方改革の推進



ビジョン 2025 表現力



教えから学びへ

管理から自己決定へ

認知能力偏重から非認知能力の再認識へ

考える生徒

認め合う生徒

挑戦する生徒

目指す生徒像

考えをもつ 多面的に考える 考えを表現する

よさを認め協力し合う 他人の痛みが分かる

目標をもつ 粘り強く取り組む

自ら学び、表現できる意識の醸成
～学力向上に向けた授業改善～

- ユニバーサルデザイン (UD) を意識した授業づくり
- 「聴く」「伝える」スキルの取得
- TRT (Toyosato Reading Time) の充実
- THT (Toyosato 補講 Time) の計画的活用

生徒の視点や発想を生かし
向上を目指す学級・学年づくり
～自治を重視した生徒会活動～

- 心の居場所となる学級・学年づくり (SST・コト等)
- ルール・メイキングを活用した特別活動の充実 (生徒会活動)
- 道徳教育の充実 (ローテーション道徳)
- 人権教育の推進

「豊里に生きる自分」を見つめる
キャリア教育の充実
～つくばスタイル科を軸として～

- 地域環境を活かした職場体験学習・ワークフォーラムの実施
- 非認知能力検査の実施
- 自己指導能力の育成
- 体験的・問題解決的な学習の推進

到達目標

◇課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいる (学園生徒評価 65%)

到達目標

◇よりよくするために、互いの意見を活かしている (学園生徒評価 65%)

到達目標

◇難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している (学園生徒評価 60%)

ビジョン 2025 連携



安全・安心

- 地域に信頼される学校づくり
～保護者や地域コミュニティとの連携・強化～
- ・豊親会との連携、保護者面談の随時実施
- コミュニティ・スクールとの連携・強化
- ・地域の人財を活用した教育活動の充実
- 「命の安全」を最優先した取組の充実
- ・豊里学園引渡訓練、交通安全教育の実施
- ・防災教育や道徳教育の充実
- 学園内小学校との連携強化
- ・相互訪問、情報共有の充実

到達目標

◇いじめの未然防止・早期発見、相談しやすい雰囲気づくりに努めている (学園生徒評価 65%)

ビジョン 2025 教師力



研鑽・信頼

- 授業改善 『問いかけ』から『コーチング』
- ・日常の授業における改善実践の積み上げ
- 資質・専門性の向上に向けた研修の充実
- ・教員の「授業を視る眼」の育成
- ・研究授業を活かした教科指導力の向上研修
- 「ワークライフバランスを意識した勤務」
- ・時間外勤務時間の平均 10%削減
- ・昨年度の実態をもとにした取組 (部活動時間の見直し・学年会の週時程への位置付け など)

到達目標

◇ 研究授業 (年間 10 回実施)
◇ 職員研修の充実 (毎月実施)
◇ 時間外勤務時間の削減 (平均 10%以上)

学校教育目標 夢と志をもち未来を創る児童の育成

～すべての児童にとってWell-Beingな沼崎小～



組織目標

探究心をもち、他者と対話し他者を認め、考えを深めることができる児童の育成

重点1: キャリア教育の視点を取り入れた探究型の学びの充実

目指す児童像

【教えから学びへ】

課題をもち、探究心をもち学ぶ児童

【管理から自己決定へ】

互いの良さを認め合う児童

【非認知能力の再認識へ】

目標に向かって挑戦し続ける児童

- 探究的な学びの単元構成の工夫
- 課題設定と振り返りの工夫
- リーディングスキル等を活用し対話の質的向上を図る手立ての工夫

- 自己選択・自己決定の場の設定（個別最適な学び・ルールメイキング）
- 他者との対話による、考えを深める活動の工夫

- 探究的・協働的な課題設定の工夫
- 自己肯定感・自己有用感の向上
- キャリア教育における実体験の重視による主体性の育成

重点2: 地域・保護者の連携、協働体制づくり

- 積極的な情報発信（学校だより、HP等）
- 地域・外部人材・関係機関等の地域の教育力の活用
- 豊里学園コミュニティ・スクール協議会との連携

重点3: チームで協働する教職員集団づくり

- 教職員の共通理解とチーム対応力の向上
- 研修の充実による教職員の資質向上
- 日課の工夫等での時間確保による働き方改革の推進



令和7年度 つくば市立今鹿島小学校グランドデザイン

【学校教育目標】

互いのよさを認め合い、自らの力で未来を拓く児童の育成

【組織目標】

社会の変化に、しなやかに対応できる力を養う教育活動の推進

目指す児童の姿

『教えから学びへ』

○多面的に考え表現できる

- ・課題解決型学習
- ・体験型、発信型学習

『管理から自己決定へ』

○よさを語り認め合える

- ・ルールメイキング
- ・自治的な集団づくり

『非認知能力の再認識へ』

○経験値をより高めていく

- ・安心、信頼の生活環境
- ・試行錯誤が保証される環境

地域とともに

- コミュニティスクール協議会との連携強化
(学園内連携の充実と活性化)
- 地域人材(ゲストティーチャー)の積極的な活用
- 地域教育力を活用した体験活動の充実

高め合う教職員

- 「働きがい」を充実させる、3つのユニットによる
協働体制の充実とユニット内チーム担任制の導入
- ニーズに合わせた校内研修
- 互いのよさを認め合い、支え合う風土の醸成

令和7年度 つくば市立上郷小学校グランドデザイン



目指す頂: **よりよい未来**をひらける人・コミュニティを育てる
～ Well-Being (一人ひとりが幸せな) 豊里 ～



【組織目標】

- ◎ 児童の問いを生かしたプロジェクト学習の展開
- ◎ 児童に寄り添い育む時間を中心にすえた学校改革の推進

教育大綱に基づいた教育活動

- ◎ 教えから学びへ
～ 体験、協働、試行錯誤、アウトプットの重視
～ 振り返り活動(自己調整力)の強化
- ◎ 管理から自己決定へ
～ 対話を通じた学校生活の向上を目指す特別活動の展開
- ◎ 認知能力偏重から非認知能力の再確認へ
～ 児童が他者や社会と協働する活動のさらなる実践

コミュニティースクールの推進

- ◎ 地域との対話、協働のさらなる推進
- やりがいと働き方のコラボ
- ◎ 協働により補完し合い、高め合う教職員集団へ

